

## 2022年度関東甲信越支部総会の報告

2021 年度総務委員長鈴木弘樹

今年度の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、5月13日（金）を締切とし、事前書面審議による総会を実施した。総会審議内容をより理解を深めること、加えて報告内容の説明のため、2022年5月18日（水）15：00～16：30の時間に建築家会館本館ホールよりオンライン（zoom）配信を行った。オンライン視聴者は約70名ほどであった。

オンライン配信では、総会定足数について、支部規約 第9条3項により、議決権を有する正会員総数1,540名の内、事前表決による出席者177名、委任状による出席者数224名の合計401名で、議決権を有する正会員の1/10以上を充足したことを報告した。また、審議する全議案の決議に必要な定足数を満たしていたことを報告した。

2022年度の参加率は26.0%で、コロナ禍で開催した2020年度、2021年度の中一番低い参加率であった（書面審議かつ原則オンラインで回答のみであった2021年度31.1%、2020年度36.1%、集合方式であった2019年度は37.8%）。年度で開催方法が異なるため、単純に数値の比較はできないが、昨年より参加率が低かったことの要因を今後分析することが必要と思われる。

議案については、第1号から第3号議案のすべて賛成多数により承認されたことを報告した。総会及びオンライン配信が無事開催され、スムーズな進行により運営されたことは、事前に詳細な準備を行った大西事務局長及び常任幹事会の方々の尽力があったことを申し添えたい。

### 【総会審議事項】

#### ■ 第1号議案：2021年度事業報告承認の件

相坂議長より2021年度事業報告について、報告者として南知之副支部長、田口知子常任幹事、中村雅子常任幹事を指名し、総会資料に基づき支部通常総会・役員会関連・各委員会・部会・各地域会の活動報告の概要の説明・報告が行われた。

#### ■ 第2号議案：2021年度収支決算承認の件

相坂議長により2021年度収支決算について、報告者として大西事務局長を指名し、大西事務局長より収支状況及び貸借対照表、正味財産増減表、財産目録などの資料を基に説明が行われ、当期の収支差額が7,308,010円で黒字会計であったことの報告と、当期費用支出合計47,734,557円のうち、公益事業が32,257,347円、法人会計が15,477,210円で、公益事業比率が70.5%となった旨の報告が行われた。報告を受けて、青木監査より監査状況について報告が行われた

#### ■ 第3号議案：支部役員及び監査選任承認の件

相坂議長より、支部役員及び監査選任について、大西事務局長を指名し、大西事務局長より、支部役員選出規約第2条2～5項の規定により支部役員及び監査候補者について選任する旨説明が行われた。

## 【総会報告事項】

### ■報告事項 2022年度活動方針ならびに2022年度予算について

相坂議長より、報告事項の2022年度活動方針については急用により欠席となった次期支部長予定者の渡邊太海会員に代わり、慶野正司支部長を指名、2022年度予算については鈴木弘樹総務委員長を指名し、慶野支部長より、2022年度活動方針、鈴木総務委員長より、2022年度予算についてそれぞれ説明があり、質疑が行われた。

## 【会員集会】

支部通常総会オンライン配信後、引き継ぎ会員集会（オンライン）を以下の内容で実施した。オンライン視聴者は約70名ほどであった。

2022年5月18日（水）16：40～18：00（予定）

会 場：建築家会館本館ホール（支部通常総会オンライン配信）

### ■会員集会プログラム

- ・開会 16：40（実施）  
挨拶 （公社）日本建築家協会関東甲信越支部 支部長 慶野 正司 氏
- ・来賓挨拶1 （公社）日本建築家協会 会長 六鹿 正治 氏  
「J I A会長としてこれまで取り組んできたことと今後の期待」
- ・来賓挨拶2 （公社）日本建築家協会 次期会長 佐藤 尚巳 氏  
「J I Aの更なる発展としての抱負」
- ・（公社）日本建築家協会関東甲信越支部 支部長 慶野 正司 氏  
「J I A関東甲信越支部長としてこれまで取り組んできたことと今後の期待」  
～支部長レポートから振り返る「取り組みと今後の期待」～  
支部会員からの質疑応答
- ・会員集会テーマ  
「知的生産者支援機構の目指す方向性と実施される一号案件について」  
知的生産者選定支援機構 上浪 寛 氏+鈴木 弘樹 氏
- ・J I A建築家大会2022沖縄大会の案内  
沖縄支部長 伊良波 朝義 氏
- ・閉会 18：15（実施）

今回の会員集会は、会長の交代、関東甲信越支部長の交代が重なったこともあり、集会では、J I A会長と次期会長にお越しいただき、J I A会長には取り組んできたことと今後の期待、次期会長にはJ I Aの更なる発展としての抱負をお話しいただいた。関東甲信越支部長は、取り組んできたことと今後の期待を話した。会員にとって、J I A会長と関東甲信越支部長の目指していた方針や今後の期待、次期会長の目指す方針を知る機会となった。その後、話題提供として、知的生産者支援機構の目指す方向性と実施される一号案件について話題提供があり、沖縄支部長よりJ I A建築家大会2022沖縄大会（対面で実施

する予定)の案内を、ビデオを使い大会参加の呼びかけがあった。会員集会は、予定の終了時間をオーバーしたため、予定のため退室した会員に向け、後日録画をホームページにアップした。

**【総括】**

総会と会員集会のオンライン配信を行ったが、課題はあったものの、大きなトラブルもなく閉会した。オンライン配信のノウハウは、関東甲信越支部に確実に蓄積され、その結果、開催方法の一つとして確立された段階に入ったと感じられた。今後、会員に情報を伝える手段としてより活用が期待される。

以上